

施設実習に関する意欲と現状について

— 学生のアンケートを中心に —

A Study on Students' Attitudes toward Practicum at Welfare Institutions

— A Report Based on a Questionnaire for Student Trainees —

(2004年3月31日受理)

土谷 由美子
Yumiko Tsuchiya

Key words : 施設, 実習, 教育

要 約

施設実習において学生がどのような意識をもって実習を行っているのかを明らかにするために、施設実習終了後に幼児教育科1年生を対象にアンケート調査を行った。施設実習事前の取り組み、施設に対する評価、担当者からの指導評価、実習生に対する自己評価、実習前後の施設のイメージ、実習経験を総括する評価を集計した。その結果、担当者からの指導の評価から日誌の内容や書き方の指導が実習施設により異なっていたり、担当者からの指導評価の中の施設の理解や実習施設で実習できたことが肯定的に現れていた。

1. はじめに

本学幼児教育科では学内での講義や実技を通して、理論や知識、技能を身につけたものを、1年終了時に実践活動として実習を通して利用児・者と直接関わりながら、経験的知識や実践への応用力を学ぶために施設実習を行っている。

ほとんどの学生にとって保育所実習と実習内容の異なる施設への知識はなく漠然とした思いのまま実習している状況である。まして、10日間の宿泊実習になるので精神的に不安となっている。

施設実習は実習施設と養成校と学生を含めた3者の関係のもとで成り立っている。施設種別も多様であり、対象の年齢層も幅も広く学生一人ひとりが希望する施設で実習できない現状である。

本研究は、このような現状を踏まえ、保育士資格取得のための一部とし必修である施設実習に臨む学生の事前の不安と担当者からの実習中の指導、実習後の認識を探究し、学生が意欲的に実習できるよう今後の実習指導の

手がかりにすることを目的とする。

2. 研究方法

- 1) 調査対象は中国短期大学幼児教育科の「施設実習」履修者1年生、2年生、科目等履修生の180名である。
- 2) 調査時期は2003年3月施設実習終了後に行った。
- 3) 調査方法は施設実習反省会后無記名方式のアンケート調査でマークシートを用いた。
- 4) 調査項目は6つの枠組みから構成された計19項目から作られている。6つの枠組みの1番目の枠組みは、学生の事前に実習に対する取り組み姿勢の3項目(No.1～No.3)である。2番目の枠組みは施設に対する評価の3項目(No.4～No.6)3番目の枠組みは実習中の担当者からの指導に関する5項目(No.7～No.11)4番目の枠組みは自己の実習成果に関する5項目(No.12～16)5番目の枠組みは実習前・実習後の施設のイメージの2項目(No.17～18)である。そ

して、6番目の枠組みは実習経験を総括的に評価する1項目(No.19)である。

3. 結果と考察

1) アンケート調査の結果について

ここで用いるデータの数は乳児院・児童養護施設・

児童自立支援施設をまとめて児童系施設(50名)、知的障害児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設をまとめて障害児系施設(41名)知的障害者更生施設、知的障害者授産施設をまとめて障害者系施設(89名)と分類した。(表1)

表1 アンケート結果

質 問	種 別	は	い	い	い	え	
1. あなたは自分の課題や目標をきちんと持って実習に望みましたか。	児童系施設	42人	84.0%	8人	16.0%		
	障害児系施設	37人	90.2%	4人	9.8%		
	障害者系施設	79人	88.8%	10人	11.2%		
2. 実習前実習に向けて自分の取り組む姿勢は積極的でしたか。	児童系施設	21人	42.0%	29人	58.0%		
	障害児系施設	14人	34.1%	27人	65.9%		
	障害者系施設	34人	38.2%	55人	61.9%		
3. 施設の利用児・者を理解するためによく事前学習しましたか。	児童系施設	8人	16.0%	42人	84.0%		
	障害児系施設	8人	19.5%	33人	80.5%		
	障害者系施設	19人	21.3%	70人	78.7%		
4. 施設の利用児・者は生き生きとしていましたか。	児童系施設	47人	94.0%	3人	6.0%		
	障害児系施設	40人	97.6%	1人	2.4%		
	障害者系施設	83人	93.3%	6人	6.7%		
5. 施設はアットホームな環境でしたか。	児童系施設	49人	98.0%	1人	2.0%		
	障害児系施設	41人	100.0%	0人	0.0%		
	障害者系施設	85人	95.5%	4人	4.5%		
6. 施設の利用児・者と担当者の人間関係はうまくいったと思いますか。	児童系施設	50人	100.0%	0人	0.0%		
	障害児系施設	41人	100.0%	0人	0.0%		
	障害者系施設	87人	97.8%	2人	2.2%		
7. 施設の実習生の受け入れ準備はできていましたか。	児童系施設	49人	98.0%	1人	2.0%		
	障害児系施設	39人	95.2%	2人	4.8%		
	障害者系施設	82人	92.1%	7人	7.9%		
8. 日誌の内容や書き方をよく指導して貰えましたか。	児童系施設	34人	68.0%	16人	32.0%		
	障害児系施設	36人	87.8%	5人	12.2%		
	障害者系施設	69人	77.5%	20人	22.5%		
9. 実習中個別に指導助言がありましたか。	児童系施設	43人	86.0%	7人	14.0%		
	障害児系施設	39人	95.1%	2人	4.9%		
	障害者系施設	81人	91.0%	8人	9.0%		
10. あなたと担当の先生との人間関係はうまくいったと思いますか。	児童系施設	48人	96.0%	2人	4.0%		
	障害児系施設	39人	95.1%	2人	4.9%		
	障害者系施設	85人	95.5%	4人	4.5%		
11. 自分の実習テーマに関して指導を受けましたか。	児童系施設	13人	26.0%	37人	74.0%		
	障害児系施設	14人	34.1%	27人	65.9%		
	障害者系施設	30人	33.7%	59人	66.3%		
12. あなたは積極的にかかわることができましたか。	児童系施設	46人	92.0%	4人	8.0%		
	障害児系施設	39人	95.1%	2人	4.9%		
	障害者系施設	85人	95.5%	4人	4.5%		
13. 事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できましたか。	児童系施設	44人	88.0%	6人	12.0%		
	障害児系施設	34人	82.9%	7人	17.1%		
	障害者系施設	75人	84.3%	14人	15.7%		
14. あなたの实習内容に対していつも肯定的評価をうけましたか。	児童系施設	33人	66.0%	17人	34.0%		
	障害児系施設	29人	70.7%	12人	29.3%		
	障害者系施設	70人	78.7%	19人	21.3%		
15. 実習施設で実習できたことをよかったですと思いましたか。	児童系施設	44人	88.0%	6人	12.0%		
	障害児系施設	39人	95.1%	2人	4.9%		
	障害者系施設	87人	97.8%	2人	2.2%		
16. 実習を終えて施設に対する理解はできましたか。	児童系施設	40人	80.0%	10人	20.0%		
	障害児系施設	39人	95.1%	2人	4.9%		
	障害者系施設	82人	92.1%	7人	7.9%		
質 問	種 別	いいイメージ	どちらともいえない	悪いイメージ			
17. 実習前の施設へのイメージはどうでしたか。	児童系施設	14人	28.0%	24人	48.0%	12人	24.0%
	障害児系施設	6人	14.6%	26人	63.4%	9人	22.0%
	障害者系施設	23人	25.8%	49人	55.1%	17人	19.1%
18. 実習を終えて施設へのイメージは変わりましたか。	児童系施設	39人	78.0%	9人	18.0%	2人	4.0%
	障害児系施設	40人	97.6%	1人	2.4%	0人	0.0%
	障害者系施設	81人	91.0%	6人	6.7%	2人	2.3%
19. 実習を終えて施設で働きたいと思うようになりましたか。	種 別	働きたい	どちらともいえない	働きたくない			
	児童系施設	12人	24.0%	28人	56.0%	10人	20.0%
	障害児系施設	13人	31.7%	21人	51.2%	7人	17.1%
障害者系施設	24人	27.0%	53人	59.6%	12人	13.4%	

① 学生の事前に実習に対する取り組み姿勢

課題や目標をきちんと持って実習に行った学生は障害児系施設で90.2%と高く、障害者系施設、障害児系施設も80%以上持ってくれていた。(No.1) 実習前の実習へ向けて取り組む姿勢はすべて施設において60%以上が積極的でなかったと答えている。(No.2) 施設の利用児・者を理解するためによく事前学習したかについてはすべての施設で80%程度の学生がしてなかった。(No.3) 2年間の間に施設、保育園、幼稚園と3回実習を行っている。そして、保育士取得のための保育実習に一部として必修である。初めての实習で施設に行くため保育園、幼稚園のように自分が幼児の頃通っていたり、ボランティアなどからの知識もなく、どんな生活をしているのかどんな実習をすればいいのか漠然としたまま受身で事前授業を受けていて自ら積極的に取り組めていなかったのであろう。授業の中では少しでも主体的に関われるようにビデオや資料の提供、施設長や卒業生からの現状の話など工夫しているが理解にまではいたっていなかった。課題や目標はきちんと持てたが、それが積極的に取り組む姿勢やよく事前学習をすることにはつながっていなかったようである。

② 施設に対する評価

施設内の利用児・者は生き生きとした(No.4)、アットホームな環境(No.5)、利用児・者と担当者の人間関係(No.6)はすべて施設において100%、100%ちかくいいと感じていた。施設は利用児・者と職員との長期にわたる人間関係に基づく生活の場、訓練や治療の場であるので環境や人間関係、生き生きとした生活ができていて学生の施設は暗いもの、障害児・者への恐怖感等偏った思い込みと違って施設の真の姿を知ったのであろう。

③ 実習中の担当者からの指導

実習生の受け入れ準備について(No.7)、個別の指導助言(No.9)、担当者との人間関係(No.10)はすべて施設で90%ととてもうまくいっていたようである。だが、日誌の指導については児童系施設が32%が指導して貰えてなかった。(No.8) 自分の実習テーマに関して指導を受けた学生はすべての施設において低かった。(No.11) 施設は保育士のためだけ

でなく社会福祉士、介護福祉士、看護師、教師などの実習を引き受けているのにも関わらず気持ちよく受け入れてくださっている。実習中担当者から指導してもらった内容は、児童系施設や障害児系施設では利用児との関わり方を中心に、障害者系施設では利用者との関わりや利用者の実態が中心になっていた。児童系施設で日誌の指導がしていただけなかった施設は、児童がいる時はできないし児童がいない時は洗濯、掃除等雑用が多く、児童が実習生に甘えたり落ちつきがなくなったり、生活のペースを乱されているため実習生への対応も充分でなかったであろう。実習テーマに関しては自ら積極的に尋ねるといふ姿勢をみせなかったようである。

④ 自己の学習成果

積極的にかかわれた(No.12)、事務的な仕事や記録などが迅速かつ確にできた(No.13)、実習施設で実習できたことがよかった(No.15)、施設に対する理解(No.16)はすべての施設で80%以上になっており高い成果があった。実習内容に対して肯定的評価であった(No.14)については、障害者系施設29.3%で児童系施設が34%何かの注意を受けていた。積極的に関われはしたが、すべての施設で実習生がどこまで関わっていいのか困ったようである。他には児童系施設では中高生との関係への対応の仕方、年齢差がなくしかも思春期にあたる女子高生と接するときなど気を使い、少し強い調子で話されたり無視されて混乱し、恐くて話せなくなってしまったりしている。障害児系施設、障害者系施設では利用児・者への援助技術が大変であったようである。特に、障害児系施設では医療に関する専門性、看護的な施設の性格が強いことである。実習施設の理解もでき、実習施設で実習できたことはよかったようだ。だが、1施設でしか実習できていないため全施設に対して理解して欲しいものである。

⑤ 実習前後の施設のイメージ

実習前の施設の印象(No.17)は、すべての施設においていいイメージと悪いイメージが同じくらい低かったが、実習後はいいイメージが高くなっていた。(No.18) 特に障害児系施設は100%であった。実習先は希望調査を行っているが学生は児童系施設の乳児

院、児童養護施設に行きたがるが実習の承諾をいただいている施設は障害者系施設が多い。半数以上の学生が第1希望で実習できていない現状であるため、実習前は障害児系施設で実習することになった学生はいいイメージと答えた学生は14.6%と低かった。本学のカリキュラムも乳児・幼児のための教科中心になっているため、障害に対して学ぶ場が少ないのである。事前指導だけではあまり効果が認められず、実習生は消極的、否定的な先入観を持って実習にしているようだ。だが、実習後にはほとんどの学生が施設での職員・利用児・利用者との関係や支援の仕

方等が理解でき施設のイメージがよくなっていた。

⑥ 実習経験の総括的評価

施設で働きたいか(No.19)については、どちらともいえないが半数以上おり、働きたくないよりも働きたいのほうが多かった。実習施設への理解や、実習施設での実習ができたことをよかったと思う学生が大多数に比べ、働きたいと思う学生が30%程度であったのは残念である。

2) 施設で働きたい意欲と項目との関係

施設で働きたい意欲のある学生と16項目との関係を集計した。その結果は表2のとおりである。

表2 施設で働きたい意欲と項目との関係

質 問		児 童 系 施 設			知的障害児系施設			知的障害者系施設		
		働きたい	どちらともいえない	働きたくない	働きたい	どちらともいえない	働きたくない	働きたい	どちらともいえない	働きたくない
1. あなたは自分の課題や目標をきちんと持って実習に望みましたか。	はい	12人 100.0%	22人 78.6%	8人 80.0%	12人 92.3%	18人 85.7%	7人 100.0%	20人 83.3%	49人 92.5%	10人 83.3%
	いいえ	0人 0.0%	6人 21.4%	2人 20.0%	1人 7.7%	3人 14.3%	0人 0.0%	4人 16.7%	4人 7.5%	2人 16.7%
2. 実習前実習に向けて自分の取り組み姿勢は積極的でしたか。	はい	6人 50.0%	10人 35.7%	5人 50.0%	6人 46.2%	6人 28.6%	2人 28.6%	10人 41.7%	20人 37.7%	4人 33.3%
	いいえ	6人 50.0%	18人 64.3%	5人 50.0%	7人 53.8%	15人 71.4%	5人 71.4%	14人 58.3%	33人 62.3%	8人 66.7%
3. 施設の利用児・者を理解するためによく事前学習しましたか。	はい	3人 25.0%	4人 14.3%	1人 10.0%	2人 15.4%	4人 19.0%	2人 28.6%	9人 37.5%	8人 15.1%	2人 16.7%
	いいえ	9人 75.0%	24人 85.7%	9人 90.0%	11人 84.6%	17人 81.0%	5人 71.4%	15人 62.5%	45人 84.9%	10人 83.3%
4. 施設の利用児・者は生き生きとしていましたか。	はい	11人 91.7%	26人 92.9%	10人 100.0%	12人 92.3%	21人 100.0%	7人 100.0%	23人 95.8%	49人 92.5%	11人 91.7%
	いいえ	1人 8.3%	2人 7.1%	0人 0.0%	1人 7.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 4.2%	4人 7.5%	1人 8.3%
5. 施設はアットホームな環境でしたか。	はい	12人 100.0%	28人 100.0%	9人 90.0%	13人 100.0%	21人 100.0%	7人 100.0%	23人 95.8%	51人 96.2%	11人 91.7%
	いいえ	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 10.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 4.2%	2人 3.8%	1人 8.3%
6. 施設の利用児・者と担当者の人間関係はうまくいったと思いますか。	はい	12人 100.0%	28人 100.0%	10人 100.0%	13人 100.0%	21人 100.0%	7人 100.0%	24人 100.0%	53人 100.0%	10人 83.3%
	いいえ	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 16.7%				
7. 施設の実習生の受け入れ準備はできていましたか。	はい	12人 100.0%	27人 96.4%	10人 100.0%	13人 100.0%	19人 90.5%	7人 100.0%	22人 91.7%	49人 92.5%	11人 91.7%
	いいえ	0人 0.0%	1人 3.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 9.5%	0人 0.0%	2人 8.3%	4人 7.5%	1人 8.3%
8. 日誌の内容や書き方をよく指導して貰えましたか。	はい	6人 50.0%	20人 71.4%	8人 80.0%	11人 84.6%	18人 85.7%	7人 100.0%	18人 75.0%	42人 79.2%	9人 75.0%
	いいえ	6人 50.0%	8人 28.6%	2人 20.0%	2人 15.4%	3人 14.3%	0人 0.0%	6人 25.0%	11人 20.8%	3人 25.0%
9. 実習中個別に指導助言がありましたか。	はい	12人 100.0%	23人 82.1%	8人 80.0%	12人 92.3%	20人 95.2%	7人 100.0%	21人 87.6%	49人 92.5%	11人 91.7%
	いいえ	0人 0.0%	5人 17.9%	2人 20.0%	1人 7.7%	1人 4.8%	0人 0.0%	3人 12.5%	4人 7.5%	1人 8.3%
10. あなたと担当の先生との人間関係はうまくいったと思いますか。	はい	12人 100.0%	27人 96.4%	9人 90.0%	13人 100.0%	20人 95.2%	6人 85.7%	23人 95.8%	51人 96.2%	11人 91.7%
	いいえ	0人 0.0%	1人 3.6%	1人 10.0%	0人 0.0%	1人 4.8%	1人 14.3%	1人 4.2%	2人 3.8%	1人 8.3%
11. 自分の実習テーマに関して指導を受けましたか。	はい	1人 8.3%	21人 75.0%	5人 50.0%	8人 61.5%	4人 19.0%	2人 28.6%	9人 37.5%	19人 35.8%	2人 16.7%
	いいえ	11人 91.7%	7人 25.0%	5人 50.0%	5人 38.5%	17人 81.0%	5人 71.4%	15人 62.5%	34人 64.2%	10人 83.3%
12. あなたは積極的にかかわることができましたか。	はい	11人 91.7%	25人 89.3%	10人 100.0%	13人 100.0%	20人 95.2%	6人 85.7%	22人 91.7%	51人 96.2%	12人 100.0%
	いいえ	1人 8.3%	3人 10.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 4.8%	1人 14.3%	2人 8.3%	2人 3.8%	0人 0.0%
13. 事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できましたか。	はい	10人 83.3%	25人 89.3%	9人 90.0%	11人 84.6%	16人 76.2%	7人 100.0%	21人 87.5%	44人 83.0%	11人 91.7%
	いいえ	2人 16.7%	3人 10.7%	1人 10.0%	2人 15.4%	5人 23.8%	0人 0.0%	3人 12.5%	9人 17.0%	1人 8.3%
14. あなたの実習内容に対していつも肯定的評価をうけましたか。	はい	7人 58.3%	19人 67.9%	7人 70.0%	10人 76.9%	15人 71.4%	4人 57.1%	18人 75.0%	43人 81.1%	9人 75.0%
	いいえ	5人 41.7%	9人 32.1%	3人 30.0%	3人 23.1%	6人 28.6%	3人 42.9%	6人 25.0%	10人 18.9%	3人 25.0%
15. 実習施設で実習できたことをよかったですと思いましたか。	はい	12人 100.0%	24人 85.7%	8人 80.0%	13人 100.0%	21人 100.0%	5人 71.4%	22人 91.7%	52人 98.1%	12人 100.0%
	いいえ	0人 0.0%	4人 14.3%	2人 20.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 28.6%	2人 8.3%	1人 1.9%	0人 0.0%
16. 実習を終えて施設に対する理解はできましたか。	はい	12人 100.0%	19人 67.9%	8人 80.0%	12人 92.3%	20人 95.3%	7人 100.0%	24人 100.0%	49人 92.5%	10人 83.3%
	いいえ	0人 0.0%	9人 32.1%	2人 20.0%	1人 7.7%	1人 4.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 7.5%	2人 16.7%

児童系施設で「働きたい」と答えた人が「働きたくない」と答えた人より「はい」が多かったのは、16項目中7項目であった。知的障害児系施設で「働きたい」と答えた人が「働きたくない」と答えた人より「はい」が多かったのは、16項目中6項目であった。知的障害者系施設で「働きたい」と答えた人が

「働きたくない」と答えた人より「はい」が多かったのは、16項目中8項目であった。

3) カイ二乗検定の結果について

19項目について偏りが見られるかどうかを調べるためにカイ二乗検定を行った。その結果は、次のとおりである。

質 問	χ^2	確 率
No.1. あなたは自分の課題や目標をきちんと持って実習に望みましたか。	0.978	0.613
No.2. 実習前実習に向けて自分の取り組む姿勢は積極的でしたか。	0.589	0.745
No.3. 施設の利用児・者を理解するためによく事前学習しましたか。	0.585	0.746
No.4. 施設の利幼児・者は生き生きとしましたか。	1.016	0.602
No.5. 施設はアットホームな環境でしたか。	2.255	0.324
No.6. 施設の利用児・者と担当者との人間関係はうまくいったと思いますか。	2.068	0.356
No.7. 施設の実習生の受け入れ準備はできていましたか。	2.145	0.342
No.8. 日誌の内容や書き方をよく指導して貰えましたか。	5.033	0.081
No.9. 実習中個別に指導助言がありましたか。	2.235	0.327
No.10. あなたと担当の先生との人間関係はうまくいったと思いますか。	0.042	0.979
No.11. 自分の実習テーマのに関して指導を受けましたか。	1.030	0.598
No.12. あなたは積極的にかかわることができましたか。	0.796	0.672
No.13. 事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理できましたか。	0.528	0.768
No.14. あなたは実習内容に対していつも肯定的評価を受けましたか。	2.804	0.246
No.15. 実習施設で実習できたことをよかったと思いましたか。	5.850	0.054
No.16. 実習を終えて施設に対する理解はできましたか。	6.806	0.033
No.17. 実習前の施設へのイメージはどうでしたか。	3.321	0.506
No.18. 実習を終えて施設へのイメージは変わりましたか。	9.731	0.045
No.19. 実習を終えて施設で働きたいと思うようになりましたか。	1.719	0.787

No.8は $\chi^2=5.033$ ($df=2$)で8.1%, No.15は $\chi^2=5.850$ ($df=2$)で5.4%, No.16は $\chi^2=6.806$ ($df=2$)で3.3%で有意であった。

4. お わ り に

本学学生のアンケートをもとに施設実習についての意識の一端が明らかになった。

No.1からNo.3の学生の事前に実習に対する取り組み姿勢では、学生にとって体験したことのない未知の世界に対して不安を持ち、また10日間という宿泊で自分の基本的生活能力の未熟さや、障害児、障害者に対する恐怖感や嫌悪感があり表面的でしか理解しておらず積極的に自ら事前学習ができていなかった。

No.4からNo.6の施設に対する評価では、利用児・者と担当者との関係が親密であり、信頼関係で結ばれていた。

No.7からNo.11の実習中の担当者からの指導では、有意な差が出た児童系施設で日誌の指導が低かったのは施設での勤務は交代制勤務で複雑になっていることにあるのであろう。実習テーマに関しての指導を受けてない3割前後の学生についても学生、養成校と実習施設で相互

理解を深め問題の解消をしていきたい。実習生の受け入れ、個別の指導助言、担当者との人間関係は忙しいであろうがきちんと対応できていた。

No.12からNo.16の実習の成果では、実習施設で実習できてよかったこと、施設に対する理解で有意な差があった。利用児・者との関係がうまくいったことや利用児・者の気持ちや援助技術が分かって笑顔で接することができたが、児童系施設では現代社会において虐待児の入所が多く、暴言を吐いたり叩いたりされあまりよかったと感じられなかった学生もいたようである。

No.17とNo.18の実習前後の施設のイメージでは、実習前は施設というものに対して知識・認識・経験不足であり、暗いイメージであったものが実習終了後、施設内が明るく体験による理解がいいイメージに変化させていったようだ。

No.19の実習経験の総括的評価では、カリキュラム上の科目のあり方や実習期間の短さから、積極的に働きたい

とも働きたくないとも考えられないようである。それでも、2割から3割程度の学生が働きたいと思ってきていることはうれしいことである。

施設で働きたい意欲の項目では、児童系施設で「働きたい」と答え「働きたくない」と答えた人との差ができたのはNo.1, No.3, No.5, No.9, No.10, No.15, No.16であり、障害児系施設ではNo.2, No.10, No.11, No.12, No.14, No.15であり、障害者系施設ではNo.2, No.3, No.4, No.5, No.6, No.10, No.11, No.16であった。「働きたい」と答えた人ですべてに施設共通したのは、No.10のあなたと担当の先生との人間関係はうまくいったと思いますか、であった。「働きたくない」と答えた人で「働きたい」と答え

た人よりうわまっていたのは、事務的な仕事や記録などが迅速かつ的確に処理ができましたかであった。

以上、実習への学生の取り組みについて一人ひとりの不安を軽減でき意欲的に取り組めるよう実習指導する上において、実習指導の内容の充実に向けて手がかりを得られるよう、施設種別によって指導内容が違うという点や施設ごとの特徴など多様な側面を学生に伝えていかないといけない。そして、もっと多くの学生が働きたいと考えてくれるように指導していきたい。今後も、よりよいアンケート調査を目指し質問項目を吟味しながら実習指導の向上のために継続的に行っていくことが必要である。

参 考 文 献

1. 田中チカ子・菅田栄子：施設実習に関する学生の意識（第3報），松山東雲短期大学研究論集 第25巻 p.113-125 1994.
2. 太田敬子：文化女子大学室蘭短期大学保育科施設実習に関する現況と考察，文化女子大学室蘭短期大学研究紀要 第25号 p.30-40, 2002.
3. 小館静枝他：施設実習マニュアル，崩文書林 1992